

【表紙】

| | |
|------------|---|
| 【提出書類】 | 有価証券報告書の訂正報告書 |
| 【根拠条文】 | 証券取引法第24条の2第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成16年9月30日 |
| 【事業年度】 | 第19期（自平成15年4月1日至平成16年3月31日） |
| 【会社名】 | エヌ・ティ・ティ・リース株式会社 |
| 【英訳名】 | NTT LEASING CO., LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 宇田 好文 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区芝浦一丁目2番1号 |
| 【電話番号】 | 03 - 5445 - 5400（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 企画部担当課長 西川 傑 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区芝浦一丁目2番1号 |
| 【電話番号】 | 03 - 5445 - 5511 |
| 【事務連絡者氏名】 | 企画部担当課長 西川 傑 |
| 【縦覧に供する場所】 | エヌ・ティ・ティ・リース株式会社 大阪支店 （大阪府大阪市中央区平野町二丁目3番7号） エヌ・ティ・ティ・リース株式会社 東海支店 （愛知県名古屋市中区錦三丁目5番27号） |

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成16年6月25日をもって提出した第19期（自平成15年4月1日至平成16年3月31日）有価証券報告書の記載事項に一部訂正を要する箇所があったので、有価証券報告書の訂正報告書を関東財務局長に提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

1 業績等の概要

(1) 業績

2 営業取引の状況

(1) 契約実行高

3【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

(1) 業績

(訂正前)

(前略)

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

リース・割賦販売事業におきましては、業界全体のリース取扱高の低迷及びリース料率の競争が激化するなかで、NTTグループ各社との連携を基に、新規ディーラー、ユーザーの開拓を行うほか、オペレーティングリースなど商品メニューの拡充、競争力のある金利体系の導入を行うなど、競争優位の確保にむけた積極的な事業運営を展開してまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,412億75百万円（対前年同期比0.2%増）、営業利益137億4百万円（同2.5%増）となりました。

クレジットカード事業におきましては、前連結会計年度における市外通話料金割引サービスの終了の影響から売上高が大幅に減少しましたが、引き続き積極的な収支改善施策の実施に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高63億66百万円（対前年同期比20.6%減）、営業損失11億60百万円（同43.9%減）となりました。

その他の事業の営業貸付業務につきましては、NTTグループのファイナンスニーズに応えるとともに、厳選な審査に基づく貸倒リスクの少ない案件に対し、一般貸付を行ってまいりました。また、ベンチャーキャピタル業務については、国内外の投資環境の変化に注視しつつ、堅実な運用を行ってまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高58億40百万円（対前年同期比0.7%増）、営業利益4億39百万円（同58.9%減）となりました。

(訂正後)

(前略)

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

リース・割賦販売事業におきましては、業界全体のリース取扱高の低迷及びリース料率の競争が激化するなかで、NTTグループ各社との連携を基に、新規ディーラー、ユーザーの開拓を行うほか、オペレーティングリースなど商品メニューの拡充、競争力のある金利体系の導入を行うなど、競争優位の確保にむけた積極的な事業運営を展開してまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,384億42百万円（対前年同期比1.0%増）、営業利益137億4百万円（同2.5%増）となりました。

クレジットカード事業におきましては、前連結会計年度における市外通話料金割引サービスの終了の影響から売上高が大幅に減少しましたが、引き続き積極的な収支改善施策の実施に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高62億19百万円（対前年同期比13.6%減）、営業損失11億60百万円（同43.9%減）となりました。

その他の事業の営業貸付業務につきましては、NTTグループのファイナンスニーズに応えるとともに、厳選な審査に基づく貸倒リスクの少ない案件に対し、一般貸付を行ってまいりました。また、ベンチャーキャピタル業務については、国内外の投資環境の変化に注視しつつ、堅実な運用を行ってまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高36億43百万円（対前年同期比6.8%減）、営業利益4億39百万円（同58.9%減）となりました。

2【営業取引の状況】

(1) 契約実行高

（訂正前）

当連結会計年度における契約実行高を事業の種類別セグメントごとに示すと次のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | | 当連結会計年度 | |
|----------------|------------|------------|----------|
| | | 契約実行高（百万円） | 前年同期比（%） |
| リース・割賦販売事業 | 情報・事務用機器 | 195,062 | 9.0 |
| | 産業・土木・建設機械 | 10,472 | 25.1 |
| | その他 | 31,493 | 52.0 |
| | 計 | 237,027 | 13.9 |
| クレジットカード事業 | | 150,277 | 3.7 |
| その他の事業 | | - | - |
| 合計 | | 387,304 | 9.7 |

（注）リース・割賦販売事業におけるリース取引については、当連結会計年度に取得した資産の取得金額、また割賦販売については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額により表示しております。

(訂正後)

当連結会計年度における契約実行高を事業の種類別セグメントごとに示すと次のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | | 当連結会計年度 | |
|----------------|------------|------------|----------|
| | | 契約実行高(百万円) | 前年同期比(%) |
| リース・割賦販売事業 | 情報・事務用機器 | 195,062 | 9.0 |
| | 産業・土木・建設機械 | 10,472 | 25.1 |
| | その他 | 31,493 | 52.0 |
| | 計 | 237,027 | 13.9 |
| クレジットカード事業 | | 150,277 | 3.7 |
| その他の事業 | | - | - |
| 合計 | | 387,304 | 9.7 |

(注) 従来、リース・割賦販売事業におけるリース取引については、該当する連結会計年度に取得した総リース料額、また割賦販売については、割賦債権額を表示しておりましたが、当連結会計年度より、リース・割賦販売事業におけるリース取引については、当連結会計年度に取得した資産の取得金額、また割賦販売については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額により表示しております。

また、クレジットカード事業については、当連結会計年度より従来のローンおよびキャッシングにショッピングを加えた額により表示しております。

その他の事業については、前連結会計年度では営業貸付金等の表示をしておりましたが、全体に占める割合を考慮し、重要性の観点から当連結会計年度より表示しないこととしております。

なお、前年同期比の数値については、前連結会計年度における契約実行高を当連結会計年度契約実行高と同一の表示にて比較を行っております。前連結会計年度の契約実行高を当連結会計年度契約実行高と同一の表示にした金額は、以下のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | | 前連結会計年度 | |
|----------------|------------|------------|----------|
| | | 契約実行高(百万円) | 前年同期比(%) |
| リース・割賦販売事業 | 情報・事務用機器 | 179,025 | - |
| | 産業・土木・建設機械 | 8,374 | - |
| | その他 | 20,719 | - |
| | 計 | 208,118 | - |
| クレジットカード事業 | | 144,895 | - |
| その他の事業 | | - | - |
| 合計 | | 353,013 | - |

(注) 当連結会計年度より表示の変更を行ったことにより、前年同期比は記載しておりません。